

3-3 学生の受け入れ

A 群・大学院研究科の学生募集の方法、入学者選抜方法の適切性

B 群・成績優秀者等に対する学内推薦制度を採用している大学院研究科における、そうした措置の適切性

A 群・他大学・大学院の学生に対する「門戸開放」の状況

B 群・社会人学生の受け入れ状況

A 群・収容定員に対する在籍学生数の比率および学生確保のための措置の適切性

1) 入学者選抜の概要

i) 入試制度の基本方針

学生の受け入れに関する基本方針は以下の通りである。

- ・一般入試は原則として本学独自の入学試験により、適切な志願者を求めるものとする。
- ・会計専門職をめざす社会人のための入試及び既に会計専門職である公認会計士、税理士等資格を有する者及びそれらに準ずる者でリカレント教育を志向する者のために、それに対応する入試を実施する。
- ・本研究科の理念、教育方針に合致した適性と学力を有する者を対象に、自己推薦入試を行う。
- ・入学者選抜の適切な運用を行うため研究科長を委員長とする入試委員会を設置し、入試全般の企画、問題作成、面接審査方法、書類審査方法、判定基準の方法と管理運営のルールを決定する。

ii) 入試方法

入学試験は一般入試、社会人入試（社会人経験5年以上）、自己推薦入試の3種類とし、入学者選抜は、筆記試験、面接試験、口述試験、書類審査によって行う。

iii) 一般入試

募集人員 50名程度

出願資格 下記のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2006年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2006年3月卒業見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者

- (4) 学位授与機構で学士の学位を取得した者及び取得見込みの者
 - (5) 個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
 - (6) その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- 審 査 第一次審査：筆記試験 第二次審査：面接試験
- 選抜方法 選抜方法は、第一次的には一次審査として学力を有しているかを判定するため、英語と会計の基幹科目による試験を行う。ついで二次審査として面接試験を実施する。

iv) 社会人入試

募集人数 20名程度

出願資格 下記のいずれかに該当し、入学時（2006年4月）において大学を卒業後5年以上経過した者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 学位授与機構で学士の学位を取得した者
- (5) 個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (6) その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

審 査 第一次審査：書類審査 第二次審査：口述試験

選抜方法 選抜基準は、本研究科の職業倫理を基礎とする教育の理念及び方針に合致し、専門職学位課程を修了できる十分な学力があり、将来会計プロフェッションとしての積極的、活動的適性を有しているかを基準とし、試験委員による厳格な書類審査の後、面接による口述試験を行う。この口述試験は会計、監査、税法、その他の分野についての試験を想定している。

v) 自己推薦入試

募集人数 若干名

審 査 第一次審査：書類審査 第二次審査：面接試験

出願資格 下記のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2006年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 学位授与機構で学士の学位を取得した者
- (5) 個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (6) その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

選抜方法 自己推薦入試の選抜基準は、本研究科の職業倫理を基礎とする教育の理念及び方針に合致し、専門職学位課程を修了できる十分な学力があり、将来会計プロフェッションとしての積極的、活動的適性を有しているかを基準とし、試験委員による厳格な書類審査の後、面接による試験を行う。

なお、3種類の入試ともに入試の適正かつ慎重な運用を行うために、入試委員会にて判定基準等のルールを定めている。

本章 IV. 専門職大学院の取組

vi) 平成17年度及び18年度の入学状況は以下のとおりである。

平成17年度

定 員： 入学定員80名 収容定員80名

入学者： 一般入試55名、社会人入試27名 合計82名

平成18年度

定 員： 入学定員80名 収容定員160名

入学者： 一般入試36名、社会人入試33名、自己推薦38名 合計107名

vii) 科目等履修生

リカレント教育あるいは生涯学習の観点から広く門戸を広げ、実践科目群を中心として科目等履修生を受け入れている。科目等履修生が履修できる科目は、1年を通じて12単位以内である。受け入れにあたっては、書類審査及び面接による選考を行い、教授会の議を経て決定している。2006年5月現在5名の科目等履修生が在籍している。

2) 学内推薦制度について、現在は採用していない。